

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。なお、このたびの新規受託開始に伴い、現行法は受託を中止させていただきます。

当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、よろしく願い申し上げます。

敬 白

記

◆実施日

平成26年1月6日（月）ご依頼分より

◆新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考
64871 (5F101)	ヒトパピローマウイルス (HPV)ジェノタイプ 判定	子宮頸部	★ f6	室温 (28日)	4~6	2000 ※6	PCR-rSSO 法	陰性	検出可能な型は16、18、31、 33、35、39、45、51、52、 56、58、59、68型です。 本検査はあらかじめ組織診断 によりCIN1またはCIN2と診 断された患者から採取された 検体を専用容器f6でご提出く ださい。 本検査方法ではコンタミネー ションの影響がより大きくな りますので、検体採取にあ たっては取扱いに十分ご注意 ください。他項目との重複依 頼は避けてください。 &D

★容器および検体採取方法については、次ページをご参照ください。

※6：微生物学的検査判断料

●ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定

PCR-rSSO法による本項目を新規受託開始いたします。新法は、現行法と検出可能なジェノタイプの種類は変わらず、所要日数が短縮されます。また、保存安定性の高い(室温で28日間)専用容器f6を設定させていただきましたのでご案内申し上げます。

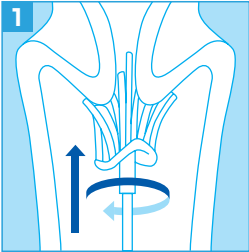
▶対象疾患

●子宮頸がん

▶関連項目

- 細胞診(婦人科)[ベセスダシステム]
- ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)
- ヒトパピローマウイルスDNA(16型、18型、その他ハイリスクグループ)

▶検体採取方法

容器形態	検体取り扱い方法
<p>(容器記号)f6</p>  <p>内容 メタノール 55%</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 1年6ヶ月</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>1</p>  <p>①子宮頸部の細胞を採取する 綿棒以外の採取器具(ブラシ、スパーテル)を用いて細胞を採取してください。</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>2</p>  <p>②細胞を洗い落とす 採取器具を容器に入れ、容器の底で採取器具の先端が広がるように10回程度押し付けた後、強くかき回して採取した細胞を洗い落としてください。</p> </div> <div> <p>3</p>  <p>③しっかりフタを閉める 採取器具を取り出し、蓋の黒いラインが容器本体の黒いラインを左に超えるように、しっかり蓋を閉め、室温保存してください。 (注)採取器具の先端は容器に残さないでください。</p> </div> </div> <p>【ご注意】 妊婦より細胞を採取する場合は、安全性を考慮し、ブラシ、スパーテル等の採取器具の使用は避け、綿棒を使用してください。ただし、綿棒で検査に必要な細胞量を採取するために、採取前に別の綿棒で粘液を除去し、採取に使用した綿棒を保存液中で十分にすすぎ、採取した細胞を洗い落としてください。容器には綿棒の先端を残さないで室温保存してください。また、綿棒では無理な力がかかると折れる可能性がありますので十分にご注意ください。</p>

今回の受託開始に伴い、平成25年12月末日ご依頼分をもって下記検査項目の受託を中止させていただきます。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

項目コード	項目名	実施日
6292 2	ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA型判定 (ハイリスク13種) 〔電流検出型DNAチップ法〕	平成25年12月末日ご依頼分をもって 受託中止

●新検査方法参考文献

尾崎 聡, 他: 臨床病理60(7): 621~626, 2012.